

# 白門ライオンズ会報

Quarterly of Lions 2018.1-2-3 No.11

東京白門ライオンズクラブ <http://hakumon-lions.org/>



中央大学  
東京白門ライオンズクラブ  
TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

寄稿

## 箱根駅伝復活への道

白門ライオンズクラブ 運営委員  
木村 実牙男

中央大学白門ライオンズクラブ会員のみなさま——日頃より中央大学陸上競技部に対し、ひとかたならぬご支援とご声援を賜り、誠にありがとうございます。とりわけ箱根駅伝チームには物心両面にわたるご援助を頂き、感謝に堪えません。紙面をお借りし、改めて御礼申し上げます。

さて今回、陸上競技部OB会の幹事長を仰せつかっていることから、厚かましくも「箱根駅伝復活への道」と題して寄稿させていただくこととなりました。そこで関係者のひとりとして、わたくしなりに「復活への道」という言葉に込めた熱き思いをお伝えできましたら……と考え、筆を執りました。

東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）は1920年（大正9年）2月に第1回大会が開催され、現在へ連綿と歴史を刻んできております。奇しくも、本学の陸上競技部も同年の創部です。私見ではありますが、箱根駅伝出場を目指し創部されたのではないかと、その歴史の重なりに偶然ではないものを感じます。

さて部史を紐解くと——1924年（大正13年）には、田代菊之助先輩が第8回オリンピック・パリ大会で10,000mとマラソンに出場をしたと記されています。本学で初めてのオリンピック選手です。

さかのぼる1912年（明治45年）、オリンピック・ストックホルム大会にマラソンで参加した日本人オリンピック選手第1号の金栗四三氏は残念ながら、完走ができずに終わりました。この反省から「オリンピックで日本を強くするには長距離、マラソン選手を育成すること。しかも、一度にたくさんの選手をつくるにはどうしたら良いか？」と考え、



▲ 総合優勝した第26回箱根駅伝（昭和25年1月5日、6日）。3区の高杉良輔先輩（区間賞）の力走と応援風景

その施策としての箱根駅伝大会創設の主旨に本学の諸先輩が賛同したのも、本学の精神に鑑みれば当然と頷けます。

関東では人気のあったこの大会は1987年（昭和62年）に日本テレビが全国放送をするや、江戸を出発して湘南海岸を横に見ながら、富士山を望む箱根を折り返すロケーションも魅力的であることから「新春の風物詩」「国民的行事」と評されるまで

に発展するに至りました。

コースは東京千代田区大手町から鶴見、戸塚、平塚、小田原の各中継所を経て、神奈川県足柄下郡箱根町・芦ノ湖までの往復で、往路107.5km、復路109.6km、合計217.1kmを1月2日と3日の2日間で競い、10区間の合計タイムが少ない大学が上位となる試合形式がとられているのが特徴です。

中央大学は箱根駅伝大会最多14回の優勝。また6連続優勝ならびに最多出場校（91回）であります。出場が叶わなかったのは3大会のみという……箱根駅伝におけるナンバーワンの伝統校です。

すなわち「優勝を義務づけられたチーム」との宿命を負っており、それは同時に「常に活躍を期待されるチーム」といっても過言ではありません。このことは非常に誇り高く心地いいのですが、それと同じだけのプレッシャーがあるというのが関係者の本音です。

返す返すも残念なのは2年前。予選会は44秒差で11位——本大会に出場ができず連続出場も87回で途切れ、大変悔しく、失望感を味わいました。

またさらに数年前より、予選会落選の危機感があったのは事実です。しかし連続予選会出場にも拘らず苦杯を舐めた時にも、学員のみなさまには、温かい励ましと心強い厳しいお言葉を頂戴しました。

激励の度「なんとしても箱根に復活したい。勝利したい！」という思いに駆られ……また、わたくしの現役時代が低迷期であったこともあり「ひとつでも部に恩返しをしたい」と競技部OB会活動に微力を尽くしている次第です。



▲箱根駅伝予選会（2017年）の様子

昨年10月14日、立川で開催された箱根駅伝予選会。この時の緊張感には格別なものがありました。1年間の成果を試す場所であり、本戦に向けた関所——10位以内に入れない場合は晴れの舞台に立てない審判の場です。

本戦においては、精一杯のチャレンジをすれば、OBや関係者は「よく頑張った」と讃えてくださいますが、予選会はそうはいきません。

この日、わたくしども関係者には只ならぬ緊張感が漂ってました。高揚感とプレッシャーに身を置いていたので

す。結果は3位で見事に予選会を突破することができました。

これも藤原監督の厳しくも愛情のある指導に学生・選手が答えたことはもちろんですが——練習環境を整え、裏方としてサポートしてきたコーチ、スタッフ、また強化費を含め強力な支援をしてくれた大学……そして中大白門ライオンズクラブならびに全国の学员のかたがたの物心両面からの支援・応援が結実したものであり「感謝」以外に言葉が見つかりません。

歴史と伝統を脈々と承継した今年の第94回大会も2018年(平成30年)1月2日～3日の両日にて終了しました。残念ながら中央大学は目標としていたシード権の獲得は成らず15位でした。ご承知のように優勝は青山学院大学が10時間57分39秒の大会新記録で4年連続4回目の総合優勝を遂げました。4連覇は2002年(平成14年)～2005年(平成17年)の駒澤大学以来、史上6校目となります。ライバル校ではありますが、その功績に賛辞を送りたいと思います。

本学は1区に舟津彰馬(2年経)、2区に堀尾謙介(3年経)、3区に中山颯(3年法)の布陣。舟津は区間12位となるも自身が目標としていた1時間2分台で走り切り、トップの東洋大学から42秒差につけると、堀尾が徐々に前方との差を縮め、区間8位で力走。順位を9位まで押し上げ、3区の中山に襷を渡し、その流れのまま区間6位で8位にまで浮上しました。4区の苗村隆広(3年文)は区間13位にもかかわらず、8位のまま襷をルーキーである5区の畝拓夢(1年法)に渡しましたが、区間10位であったためチームは8位から10位に後退してしまいました。

しかし、シード圏内に踏みとどまる粘りを見せてくれました。監督の思惑は6位～8位をキープ、復路でその貯金を使い果たすも……あわよくば10位内のシード権確保を狙っていたところです。

シード権獲得の望みを託した復路では6区の富原拓(1年経)が区間18位になり、チームが12位まで下がり、前後の他大学との間に1分も離れる「ひとりぼっち」状態に……そして7区の安永直斗(2年経)が区間15位でチーム12位。つづく8区の神崎裕(3年文)が区間12位でチーム12位と、選手層が薄いチームの弱点である単独走の走力の無さを露呈してしまい、浮上のきっかけをつかめないまま9区の池田勘汰(1年商)に襷を……その池田も区間18位の走りでもチームは14位となりました。最終区間の竹内大地(4年法)が区間18位のチーム15位と順位を落としましたが、この結果でも伝統の真紅の襷を繋ぎ切れたことは幸いであったように思います。

今回の箱根駅伝は上位校との総合力の差を痛感させられた試合であったと思います。

ただ、箱根経験者は9名残ります。また、昨年の高校生ランキング日本人2位を含め、有望な選手10人(スポー

ツ推薦枠)が入学してきました。現有戦力と新入生との激しい部内競争でレベルの高い練習を積める環境こそが、勝利への道、そして「復活への道」と考える次第であります。

ところが中央大学には他大学と違い体育学部がありません。またスポーツ推薦者を大量に入学させる部門が無いことが大きなハンデになっているのが実情です。それはまた中央大学学友会体育連盟各48団体にもいえることです。他の団体と比べれば恵まれた陸上競技部ではあるものの、他の団体を含め他校との競争を勝ち抜くためには推薦者枠の拡大は必須であります。

何卒、会員のみならずも機会があれば、この声を本学に届けて頂けたら……と考える次第であります。

最後になりますが、2019年1月2日～3日に開催される第95回東京箱根間大学駅伝競走の予選会は本年10月におこなわれます。その試合は非常に厳しい戦いとなると予想しています。シード権確保が出来ずに予選会に出場するメンバーは強豪校揃い。順天堂大学、駒澤大学、神奈川大学、山梨学院大学、そして予選落ちをした明治大学が加わり、昨年以上に上位通過は厳しいのでは？ と不安は募りますが、それはこれからの練習次第です。こころして一日いちにちを大切に、部と共に歩いていく所存ですので、相変わらぬご支援とご声援を宜しくお願い申し上げます。



▲ 本年10月開催予定の「第95回箱根駅伝」の予選会に向けて日々特訓を重ねる

2020年は、箱根駅伝大会の創設から100周年を迎える節目となります。また同じくして東京オリンピック・パラリンピックが開催される年であり、そして中央大学陸上競技部も記念すべき創部100周年を迎えます。これから1年半ほどが、本当に楽しみです。

中央大学白門ライオンズクラブ会員のみなさまにおかれましても、よりいっそう素晴らしい日々となりますよう祈念しております。ありがとうございました。

歴史と伝統に感謝!

平成30年3月31日  
中央大学白門ライオンズクラブ  
木村 実牙男

平成30年1月号

## 例会だより

 行動する知性。  
 中央大学

 東京白門 Lions Club  
 TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

2018年1月10日(水) 第一例会 於 東武銀座ホテル(芙蓉)



①中大校歌斉唱 ②③根岸Lの入会式 ④小平Lと石村Lのテールツイスター ⑤田尻L、お誕生日おめでとうございます! ⑥鈴木Lとビジター甲斐哲朗様

2018年1月第一例会は、千葉鴨川では18度!! という季節外れの暖かい日、29名の参加で盛大に開催されました。テーマ伊藤尚Lの爽やかな司会で幕が開きました。伊東敏第二副会長開会のゴングは恒例のお正月京都旅行のお話で、苔寺参拝は2か月前に申し込みをし、抽選で当たらないとお参りできず、般若心経朗読他難しい制約がある由、又、外国人観光客が50%を占め、京都の街はかなり混んでいるそうです。毎年お正月を京都で過ごすなんてすばらしいですね。

榎秀郎Lから本日のビジターとして前エストニア大使の甲斐哲朗様の紹介が有りました。田口彰紀会長挨拶はメンバー1人1人が会を盛り上げ、後半も宜しくお願ひしたい旨挨拶しました。

新年幸先よく根岸清一様(スポンサー榎秀郎L)の入会式が執り行われました。元中央大学理事、東京港区支部長を務められ、経済学部卒業後サラリーマンを経験、一念発起して弁護士になられた逸材で、大変温和で紳士な方です。ライオンズクラブでのご活躍も期待されます。

お誕生会は田尻紀夫Lお1人でした、おめでとうございます。

中山正暉終身名誉会長のお楽しみ講和は、年末大掃除での怪我も癒え、大変お元気なお姿で登壇されました。お正月には徳島まで4時間車を運転され、初日の出の参拝に行かれたそうです。開口一番、我が中央大学の脱線した状況を正すべく林文部大臣に会われ協力方依頼されたお話でした。

中山正暉Lのところには、多くのOBから、大学の惨状を正すべく立ち上がってほしいとの声が多く寄せられたそうです。脱線した中央大学を中央に戻すべく厳正中立の立場で立ちあがって頂き、大変頼もしいですね。講話はユダヤ議員連盟立ち上げのお話、近衛文麿内閣の「五相会議」決定～ユダヤ人対策要綱のお話、エルサレムに関わるユダヤ教、キリスト教の起源、モーゼ、キリスト、モハメッド等のお話と、何時もながら興味深いお楽しみ講和でした。



▲ 廣澤Lのウィ・サーブ!

廣澤洋二Lのウィ・サーブ。戌犬は60年ぶり、ご自身が60年前に中央大学に入学し、東京タワーが完成した年だそうです。戌犬は変化の年だそうです。白門LCも変化の年に!!

鈴木誠Lの大学・学会情報は、大越武雄Lから箱根駅伝報告がなされました。ここで本日のビジター甲斐哲朗様の登壇となりました。島根県ご出身で有名人は少なく、梨田監督が同郷だそうです。ご案内の通りエストニア大使を務められましたが、中央大学出身の外交官は須磨弥吉郎以来です。

バルト三国のエストニアは大変な親日国で、面積は九州と沖縄を足した程、人口は130万人、ロシア、中国の国家観はあわず、日本を見本にIT化を目指すエストニアを是非応援して頂きたい由。鈴木誠Lのお話では、アマチュア無線界では先ず無線が繋がらないことで有名な国だそうです。

井原幹事長の理事会報告。石村博義L、小平康代Lテールツイスターは大変多くのドネーション発表がありました。ファイナドネーションは水津正臣Lから15万8,000円の報告でした。横井弘明L閉会のゴングでは、65歳までの歳月で最近是最もきな臭い世情で太平洋、隣国ととても心配です、と平和を祈念してゴングを鳴らされました。

(出席者29名)

【L境捷彦・記】

## 2018年1月31日(水) 5大学ライオンズクラブ合同新年例会 於 銀座東武ホテル



今年度の合同例会は白門 LC が当番校で開催されました。第一部・合同例会は幹事長の井原俊二、第二部・懇親会は副テーマ増尾知恵 L のフレッシュコンビで進められました。

前ゾーンチェアパーソン星野紘紀 L の開会の挨拶と開会のゴングで例会開催。来賓挨拶はライオンズクラブ代表国際薬物担当大使、元国際理事山浦晟暉 L。お嬢さん5人、男子1人と子宝に恵まれ、ご子息誕生のご縁で箱根駅伝の熱心なファンになりましたが、昨年末、今年と体調を崩され応援には駆けつけられなかったそうです。法政大学6位の健闘を讃えられ、東京6大学リーグ立教大学優勝、明治大学ラグビー決勝戦惜敗の話、日本大学ライスボールの活躍談、中央大学チアガール、フェンシング部活躍の話と、各校活躍の話をちりばめられた新春のご挨拶でした。

次に阿部正行ゾーンチェアパーソンから神保欣行桜門 LC 会長、岩田護セントポール LC 会長、谷原誠駿河台 LC 会長、後藤康吉法政 LC 会長、田口彰紀白門 LC 会長と挨拶しましたが、各会長バラエティーに富んだ内容で会場を大変沸かしました。

岩田護会長の今宵の月食についてのお話は人柄を表す心温まるものでした。後藤康吉会長は来年の15周年チャーターナイトのご案内もありました。来年は白門 LC も15周年 CN 開催の予定です。年月がたつのは早いですね!!

井原幹事長の手際の良い司会進行で予定より早く第一部閉会となり、第二部は増尾知恵 L 司会で廣澤洋二前会長挨拶、ウィ・サーブで開会し、宴が始まりました。歓迎アトラクションは星野紘紀 L 紹介の中央大学音楽研究会管弦楽部カルテットで、ドボルザーク、モーツァルト、グラズノフと古典音楽を楽しませてくれました。ヤンヤの喝采でアンコールにも応えて頂き、皆拍手喝采でした。

恒例の各校校歌斉唱トップは桜門 LC で久しぶりの登場の田中則雄 L に始まり、白門 LC 桜井俊宏 L 迄、各校のリーダーが惚れ惚れする男ぶり。他校の校歌でも聞いていると涙が出ますね。

全員で「ライオンズローア」、「また会う日まで」を輪になり熱唱し、第二副会長の伊東敏 L の含蓄のある閉会の辞とゴングで第二部も目出度く散会となりました。

白門 LC 会長、幹事長、メンバー見送りの中、皆さん笑顔で家路につきました。

会長・幹事長はじめ実行委員の皆様大変お疲れ様でした。素晴らしい合同例会でした。因みに素敵なプログラムは井原俊二 L 手作りの力作です!! 有難うございました。

【L 境捷彦・記】



▲「また会う日まで」の合唱

平成 30 年 2 月号

## 例会だより

行動する知性。  
中央大学東京白門ライオンズクラブ  
TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

2018年2月7日(水) 第一例会 於 東武銀座ホテル (BI)



①境 捷彦Lのウィ・サーブ ②平山L、大網L、根岸L、増尾L、増淵L、お誕生日おめでとうございます！ ③水津Lのお話～学長選、NPO 法人「アジア太平洋英霊顕彰会」について ④鈴木誠Lの大学・学会情報 ⑤横井Lの補足スピーチ

増尾知恵Lの司会、横井弘明Lの開会のゴングで開会。今日は入会予定の来賓・東谷由香様(スポンサー小平康代L)、柳下敏男様(スポンサー大越武雄L)のお二人が例会見学にお見えになりました。

田口彰紀会長挨拶はインフルエンザ流行の話、5大学新年例会で他大学の方々から東武ホテル料理の高評価を得た話。美味な料理が出される例会に是非毎回出席を!!

榎秀郎Lにライオンズクラブ国際協会から公認ガイディング・ライオン認定証が授与されました。

お誕生会は平山久子L、根岸清一L、増尾知恵L、増淵秀一L、大網義明Lの皆様で各自一言含蓄のあるコメントを話されました。大網義明Lは大洗から久しぶりの来会、奥さま同伴で上京し東武レバント銀座ホテルにお泊りになるそうです。尚父上は鬼怒川LCのチャーターメンバーだそうです。

5大学新年例会の成功に尽力した田口会長以下実行委員会の皆様に敬意を表して、L境捷彦のウィ・サーブ。久しぶりに参加された大網義明Lのスピーチは、水戸刑務所の教戒師を45年間務められ、昨年天皇陛下から叙勲を受けられた由、お釈迦様の教えから始まり大変興味深いお話でした。

鈴木誠Lの大学・学会情報の後、横井弘明Lから寒中お見舞い「来年また」についてお話がありました。本紙の10ページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

水津正臣Lからは4月の学長選の報告、入学試験者数が昨年比118%で2月2日現在8万7000人の報告、NPO 法人「アジア太平洋英霊顕彰会」のお話、榎秀郎Lからは受験数増加の舞台裏のコメントもありました。理事会報告に続きテールツイスター

の時間は石村博義L、小平康代L、今日は大網義明L執筆の「親鸞義絶事件」が3冊贈呈されオークションとなり即売しました。尚、同書はメンバー中川順一L 経営の誡書房発行です。

ファインドネーション発表は岡田孝子Lで13万6500円。毎回沢山有難うございます。

閉会のゴングは伊東敏L、本日は詩吟の昇格テストの日ですが師範昇格の見込み!! おめでとうございます。

インフルエンザ大流行ですが、春は近くなっています。「山はおのずから青々、花はおのずから紅くなる」。ぐたぐたしくなくても自然に物事は解決するの意だそうです。第二例会も是非ご出席下さい。ゴーン!!

【L境捷彦・記】



▲榎Lへライオンズクラブ国際協会から公認ガイディング・ライオン認定証の授与

2018年2月21日(水) 第二例会 於 東武銀座ホテル(B1)



①廣澤Lのウィ・サーブ ②根岸Lの学長選報告 ③来賓の進藤Lと丸山L ④小平Lと福島Lのテールツイスター ⑤「草のみどり」斉唱

テーマー伊藤尚Lの司会、星野紘紀前ゾーンチェアパーソンの開会のゴングで開会しました。田口彰紀会長の挨拶は先ず来賓進藤義夫L(330A地区GSTコーディネーター)へエールを送りました。当クラブへの訪問は3回目ですが、昨年行われた330A地区副地区ガバナー選挙において僅か2票差で惜敗されました。

木島選挙管理委員長が選挙後の所感表明で進藤義夫Lの負けた後の態度の素晴らしさを大変評価され、再度立候補の暁には是非応援したい由表明された事を記憶しています。また家の梅が満開なこと、今年は寒さ厳しく3月のお花見例会の桜は如何?ということなどを、お話されました。

来賓の進藤義夫Lのご挨拶に先立ち、榎秀郎Lから紹介がありました。来賓進藤義夫Lは毎年50か所程度の例会訪問の傍らGSTコーディネーターを務めています。副地区ガバナー選挙再チャレンジ表明、我が白門LCへも熱いエールを送って頂きました。

来賓で東京世田谷LC幹事の丸山剛史Lから、進藤義夫L立候補の経緯説明がありました。

廣澤洋二Lは風邪全快で久しぶりのウィ・サーブ。大学・学員会報告に先立ち、鈴木誠Lから廣澤洋二Lのにエージシュート10回達成の表彰が行われました。廣澤洋二Lの謝辞!! ゴル

フはアプローチとパターに尽きる由。パターは練習グリーンで10m、5m、1mで距離感をつかむこと。ショットは100球を目途に練習するそうです。数打てば良いものではありませんよ。

今や我が白門LCの看板Lになった本業は弁護士、副業応援部の櫻井俊宏Lの中大応援団の現況については、部員が少ないのが悩みとのこと。4年生1名、2年生1名、3年生0名で部員は総勢2名。立派な社会人に育てますので部員加入にご協力をと悲痛なお願いがありました。

次に学長選について根岸清一Lから報告。学内選挙の結果が評議委員会・理事会で否決し再再選挙となりましたが、法人の教学に対する不当な介入支配という事で選挙管理委員会の委員立候補者がいないという現況です。酒井正三郎学長は事務管理学長で新しい事は出来ない立場です。相変わらず混沌とした我が中央大学です。

井原俊二幹事長の理事会報告、小平康代L、福島麻理Lピンチヒッターコンビのテールツイスター、ファインドネーション発表は伊藤尚Lで10万6,000円。

そして横井弘明Lの「桜咲く3月例会で再会しましょう」という閉会のゴングで締められました。

【L境捷彦・記】



新宿LC主催「少年少女レスリング大会」観戦!!



2月11日(火)、新宿LC主催の少年少女レスリング大会が開催され、大越L、小平Lが観戦しに行きました。



▲新宿LCの山浦晟輝L(右)と記念撮影  
◀ 開会式の様子



平成 29 年 3 月号

## 例会だより

行動する知性。  
中央大学東京白門ライオンズクラブ  
TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

## 2018年3月7日(水) 第一例会 於 銀座東武ホテル (B1)



▲ 田口彰紀会長より李瑞鵬さんに第13回留学生学術奨励賞、木邑友希さんに第4回法科大学院生学術奨励賞の授与

テーマー増尾知恵Lの司会、中西美子第一副会長の開会のゴングで例会は始まりました。福井県寶慶寺酒井大岳禅師の言葉を紹介。

かざらず (飾ると覗かれる)  
かまえず (構えると疲れる)  
かたまらず (片寄ると見えなくなる)

「私もこれからはそのように心掛けたいと思います」と挨拶されました。

田口彰紀会長の挨拶では、本日の来賓の方々歓迎の辞を述べられました。引き続き学術奨励賞の授与式が執り行われ、第13回留学生学術奨励賞は李瑞鵬さん(中国)、第4回法科大学院生学術奨励賞は木邑友希さんに、それぞれ田口会長から授与されました。李さんの指導教授である松野良一先生から選考過程の説明、又木邑さんの指導教授である加藤新太郎先生から木邑さんの経歴が紹介され、今回は社会経験のある人を対象にされたとのこと。木邑さんはアナウンサー、ニュースキャスター、報道記者と多彩な経歴を有する才媛だと紹介されました。受賞者挨拶で、李さんはたどたどしい日本語でしたが心のこもった挨拶をされ、木邑さんは流石素晴らしい素敵な挨拶をしてくださいました。近い将来司法試験合格!! されて、例会で再会できるのが楽しみです。

次に前エストニア大使の甲斐哲朗様よりエストニアのお話。1

月例会に続きパート2です。

1949年に入省以来、海外赴任10か国におよび、エストニアが最後の赴任地で3年間駐在されたそうです。バルト3国の位置は知らない日本人も、大相撲のバルトは皆知ってますね。3Sでエストニアを説明されました。①相撲のバルト、②スカイプ～ITの発達、③スィング(歌の大好きな民族)です。

北緯59度に位置し、人口密度が低く、大変仕事熱心な民族で農業(芋)と水産業と若干の繊維産業で成り立ち、国の政策でITを進め、さらの法制も整えています。デジタル証明、デジタルガバメント等大変進んでいます。エストニア人はシャイ・優しい・思いやりがある・仕事熱心等、日本人との共通点が多く素晴らしい国です。

講演後、幾つかの質問に丁寧に答えて頂きました。終わりに、英会話は読み書きさえしっかり勉強すれば自然に出来るようになる由。

鈴木誠Lの大学・学協会情報は水津正臣Lの報告。①入学試験は文学部が140%増えた事、②体育会系学協会48支部ヒアリングの実施。優秀な人材が入学しない、中大の推薦枠190名程度で少ない、寮が粗末、水泳は温水プール無し、他校は50m温水プールあり、と枚挙にいとまは無いが、これらの事はかなり前から訴えられているが学校の動きは悪く、誠意が無いとのこと。

大越武雄Lからはスィングオーケストラ60周年記念演奏会の報告がありました。

テールツイスターは石村博義L、大久保英彦Lから沢山のドネーションが発表され、続いて会計の岡田孝子Lからドネーション10万9,000円の報告がありました。

伊東敏第二副会長の閉会のゴング、甲斐哲朗さんの講和は地理・文化・宗教・地政学全てを含み素晴らしかったです。地理は昔から好きで、小さな国がどうしてこうなったか、それに比して日本は……等々。35年間外資系企業に勤務、海外に知己も多く、デンマークから20年ぶりにサッカーゲーム(70歳以上)で友人来日の由、友達方より来たるです。

【L境 捷彦・記】

## 2018年3月23日(水) 第二例会 於 銀座東武ホテル (芙蓉)

18時より3月の第二例会が開催されました。

テーマーの伊東尚Lより、「本日は少数精鋭で行います」との発言があり、元会長の岩瀬Lの開会のゴングに始まり、国家及び東京白門ライオンズクラブの歌を全員で斉唱の後、東京白門ライオンズクラブの誓いを行いました。

今回の例会は珍しく来賓及びビジター紹介もなく、田口会長の挨拶となり、3点の説明がありました。1点目は本日今期最小の例会になってしまった理由。従来の第三水曜日が休日(春分の日)となり振替で23日になってしまったために予定が立たず、少数になってしまったこと。

2点目は3月31日の「お花見」が4月の第一例会に充当し、現在のところ参加者は55名とのこと。

3点目は3月10日に中大附属中学の卒業式に出席し、当クラブの奨励賞が紹介され大変感動されたとのこと。是非、この感動を多くの会員の皆様にも味わってほしいとのことでした。

続いて100周年記念奉仕会員増強アワードの表彰があり、河野L、井原Lの両名が受賞されました。

ウィ・サーブは前会長の廣澤Lが行い「東京の桜の開花宣言は3月14日でしたが、お彼岸に雪が降り、先が読めない状況になっております。是非、お花見の当日は満開か花吹雪になれば」と熱い希望の挨拶となりました。

暫くの会食・懇談の後、吉田Lより飛び入りスピーチがあり「36年卒で文学部、法学部と大学に6年通い、両学部で多くの友人ができました。現在82歳。77歳で現役を引退したのが失敗で

した。毎日が日曜日は大変です。毎回、東京白門ライオンズクラブに参加させていただき、元気をもらい96歳まで頑張りたい」との発言でした。

続いて大学・学員会情報報告では元会長の鈴木Lより恒例の「ペア・野球チケット(巨人戦)」4組がオークションに掛けられ「1組7000円」にて皆様のご協力のもと無事捌けました。

また、鈴木Lより指名を受けた根岸Lより大学の現況についての説明がありました。懸案事項であった「横浜山手」の売却については、結果的に議決されました。学長選挙は4月12日に行われる予定であるとのこと。次に井原幹事長より理事会報告があり、

本日常期指名委員会が行われ委員長で前会長の廣澤Lより発表されました。会長の中西L、会長代行の鈴木L、第一副会長の伊藤敏L、第二副会長の横井L等の新次期体制が決まりました。

続いてテールツイスターはL石村、大久保L。ファイブ・ドナーの発表の後、全員にて中大校歌を斉唱し、最後は元会長の榎Lの閉会のゴングでいつもの例会が終了となりました。

本日は女性会員の参加者がなく、男性ばかりの例会となりましたが、総勢18名のLが銀座東武ホテルの料理とお酒(特にワイン)を満喫しました。

【L石村 博義・記】

## 2018年3月31日(土) お花見例会 於 上野 韻松亭



### 桜吹雪と宴会

ノラコミ・スタッフお花見例会報告



▲ わくわくしながら会場の韻松亭へ

#### 快晴のもと 上野公園のにぎわい

2018年白門ライオンズクラブのお花見例会に、今回もL中川代理のノラコミ菊地・野崎が参加させていただきました。

この日は快晴で暖かく、桜を求める人でいっぱいの上野公園を通りながら、会場である韻松亭へ到着。赴きある外観と、桜がたくさん楽しめる広間があり、廣澤Lがウィ・サーブの際にお話をされたように素敵な会場でした。



▲ 福原L(左)のご挨拶を楽しそうに聴くライオンたち

#### お花見例会のはじまり

お花見例会は井原Lの開会のご挨拶で始まりました。開会の後は田口Lの会長挨拶、榎Lのビジター紹介に続き、福原Lのご挨拶がありました。福原Lは、今回も東都リーグの始球式に参加されるそうです!

そして廣澤Lのウィ・サーブで宴会開始。例年より早い開花で桜は散り際でしたが桜吹雪が舞う度に歓声があがり、おいしいお酒とご飯もあいまって、会場はにぎわいました。

#### お開き～集合写真…!

楽しい時間が過ぎるのは早いもので、鈴木Lのご挨拶でお花見例会は閉会となりました。

その後の集合写真は段取りがスムーズでなかったにもかかわらず、素敵な笑顔をいただきありがとうございました。

今回も二人して白門ライオンズクラブの会を堪能させていただきました。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

【中川代理 菊地/野崎・記】

## 寄稿

## 来年また

弁護士 横井 弘明



ロースクールの教員をしていると、司法試験の発表が気になる。教え子は全員合格してほしいと願うが、遺憾ながらそれはかなわない。苦汁をなめた教え子を思うとき、昔のわが身を思い出す。

四十年ほど前、司法試験の論文発表は赤レンガの旧法務省の中庭で行われた。暗いトンネルのような通路を通り抜けると、その先に掲示板が見えた。期待と不安の交錯する中、近くまで歩いて行くと、自分の番号、名前の無いことがすぐわかった。抱き合っただけ喜びを爆発させている合格者をしり目に茫然自失のていでその場を離れる。何とか気を取り直して結果を待っている家族に知らせ

ようと思い、フラフラと日比谷公園に入って行くと、電話ボックスが見つかった。すぐに母が出た。不合格だった旨を告げると、一呼吸おいて、とても明るい声で「来年また頑張ればいいよ」の一言。ずしりと胸にこたえた。

その母が十一月に亡くなった。前日に九十歳の誕生日をして、妻のつくったちらしずしをおいしそうにほおばっていただけに、翌日の訃報には大変驚いた。いつもどおりに朝食をすませ、施設の人が九時過ぎに様子を見に行ったら、すでに心臓が止まっていたという。

喪主として通夜、告別式を務め、一息ついたところで身内から母の一番の思い出は何かと聞かれ、この一言を思い出した。

母は、大陸育ちのせいか、明るくおおらか、大ざっぱで、楽天的だった。音痴だったが、いつまでも若々しい声が自慢だった。「来年また」は、母の人となりをよく表した一言だった。

母の来年がなくなったことを残念に思う。

(晴海協和法律事務所 寒中見舞いより)

## ご報告

## 白門ライオンズクラブ学術奨励賞に対するお礼状

先日我がクラブより授与させていただきました、「白門ライオンズ倶楽部学術奨励賞」に対し、中央大学法科大学院法務研究科の木邑友希さん、中央大学大学院総合政策研究科の李瑞鵬さんよりそれぞれお礼状をいただきましたので、ご紹介いたします。

今回の受賞がお二人の励みとなり、今後ますますのご活躍に少しでも貢献できたなら、それはそれは嬉しいことですね。

これからも、応援しております!!

東京白門ライオンズクラブ様

平成三十年三月二十二日  
中央大学大学院総合政策研究科  
李瑞鵬

拝啓 春寒の候、ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度は、白門ライオンズクラブ学術奨励賞を頂き、誠に有難うございます。社会人経験を経て、法学未修者として本研究科に入学した私にとって、この度の受賞は大変大きな励みになりました。頂いた奨学金は、司法試験に向けた今後の勉強費用として大切に使用させていただきます。又、受賞に際し、貴クラブの例会や学術奨励賞授与式に出席させて頂き、多くの先輩方に励ましの言葉をかけて頂いたことは、大変心強く、決意を新たにするきっかけとなりました。今後は、自らの社会人経験を活かし、市民生活に寄与することのできる弁護士になるべく、さらなる努力を重ねていきたいと考えております。最後に、学術奨励賞を頂きましたことを重ねて御礼申し上げます。敬具

平成 30年 3月 20日

中央大学大学院 法務研究科

ご報告

宝塚花組「ポーの一族」観劇

3月18日(日)、東京宝塚劇場にて宝塚歌劇の花組公演「ポーの一族」を、鈴木誠Lご夫妻以下総勢20名で観劇いたしました。2065名収容のホールは満席の大盛況。

「ポーの一族」は漫画家・萩尾望都さん原作の吸血鬼伝説を題材にしたお話。熟睡されたLもおられたようですが、華やかで素晴らしいステージに、一同ご満悦でした。

【L 大越 武雄・記】



▲ 観劇の前の様子。皆さん楽しみに上演を待っています。

ご報告

中央大学附属高校卒業式に出席

各中央大学附属高等学校・中学校の卒業式へ、我が白門ライオンズクラブからライオンたちが出席。総勢34名の生徒の皆さまへ、奨励賞を授与いたしました。詳細は以下の通りです。

これからどんどん、立派に羽ばたいていていただきたいですね!



|              |       |       |                  |
|--------------|-------|-------|------------------|
| 中央大学附属横浜高等学校 | 3月1日  | 10:00 | 河野L、星野L          |
| 中央大学高等学校     | 3月2日  | 10:00 | 井原L、程塚L          |
| 中央大学附属高等学校   | 3月3日  | 10:00 | 小平L、石村L          |
| 中央大学杉並高等学校   | 3月10日 | 10:00 | 榎L、大越L           |
| 中央大学附属中学校    | 3月10日 | 10:00 | 田口L、小山L(新村Lに代わり) |
| 中央大学附属横浜中学校  | 3月16日 | 10:00 | 伊東L、岡田L          |

会員情報

奥田 保Lが、ご健康芳しくなく3月末日で退会されました。

編集後記

木村実牙男Lに巻頭「箱根駅伝への道」をお願い致しました。予選会突破を祈念しましょう。

例会日より第一号から企画編集して下さっている野崎裕子さん、菊地あゆみさんを紹介します。お顔はお花見例会、年忘れ例会等でご存じとおと思いますが、幻のメンバー?中川順一L経営のノラ・コミュニケーションズのお嬢さんたちです。

メンバーの顔、例会の中身等把握して頂き、いつも楽しい例会だよりを作成してくれます。今後とも宜しくお願い致します。

【L境 捷彦・記】



Quarterly of Lions 2018.1-2-3 No.11

発行日 2018年4月30日

発行人 田口彰紀

編集/総務・広報委員会 境 捷彦 大越 武雄 久保 博

発行所 東京白門ライオンズクラブ

事務局 八王子市南大沢 3-14-4-304 TEL/FAX.042-676-4147

制作協力 株式会社 ノラ・コミュニケーションズ

白門ライオンズ会報 揮毫 中山 正暉L



2017.7 ~ 2018.6

白門ライオンズの誓い  
我々は、会員相互の友情  
の絆を基に、同窓・学員の  
信頼を深め、知性の根源  
である中央大学の発展に  
寄与することを誓う。  
東京白門ライオンズクラブ

クラブスローガン

白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛

東京白門ライオンズクラブ

白門ライオンズクラブ 🔍

<http://hakumon-lions.org>